

一般に自分の限界にチャレンジしている人は、独特の魅力があります。

婚活を頑張る人より、何かに真剣に挑んでいる人の方が（たいていは、ですが）当然モテます。

そのチャレンジの結果が、仕事の成果や実績に現れることもあるけど、チャレンジをそんなにしなくても成果が出ることもあります。ありますよね？

だから目にみえる成果よりも、**自分の限界にチャレンジする姿勢**の方が大事です。

ところで、「一流の人ほど、負けを望んでいる」という話があります。

これは講座でもたまに話してますが、普通の人には「え？」と思うところです。

え？ 一流の人ほど、負けたくない、勝ちたいから、一流になったんじゃないの？と。

だけど、サッカーや野球で日本のトップ選手が、自分が通用するかわからない海外にチャレンジするのは、「**今の自分が通用しないレベルで戦いたい（＝すでに勝てる世界で勝っても面白くない）**」と思っているからに決まっています。

チャレンジの動機の根本は「**強敵がたくさんいる厳しい環境で自分を磨き、今の限界を超えてより強く成長したい**」と思っているからでしょう。強くなりたい、が動機です。

安定を求めて、ただ勝ちたいだけなら今の環境を守るはず。でもそのマインドだと徐々に熱量が下がったり自己保身的スタンスが定着して腐っていきます。

負けるのが怖くて安定を求める人は、スポーツなら絶対に勝てる相手と勝負したいというようなマインドです。仕事でも「絶対に負けられない！」とか自分を追い込んで周囲に厳しく当たっている上司やリーダーも少なからずいますが、その根本は「**恐れ・恐怖**」でしょう。つまり弱さを育んでいる。

負けるのが怖くて「**絶対に負けられない**」とか気張っている状態は、一見強そうですが力んでいるし、本当は恐怖にすでに負けているのかもしれない。状態が状況をつくるのだから、**負けた状態のまま焦って動いても負けるだけです。**

強くなりたい人は、今の自分が勝てない状況をどこか歓迎しているし、そうでないと面白くないと思っている。さて、あなたはどうでしょうか？

今の自分が通用しない環境を求めるマインドが、今のあなたにどれくらいあるのか？

普段のあなたは、本当はいろんな逃げる理由を見つけてきて逃げたいだけなのか？

そういった意味でも、一流と言われる人はちょっと普通とは違う（真逆の）本能的に負けを望んでいる変わったメンタリティとも言えます。例えば自信のない親が、親心で子供に

失敗しない人生を送らせようとする、子供がどんどん自分本位の嫌な人間になってしまうこともあります。このあたりの理解はとても大切だと思います。

これだけでも、気づいている人とわかってない人には、実は日々すごい差がつく部分ですね。少し長くなりましたが、今日は以上です。

.....

◎自習に役立つ無料で学べるコンテンツをいくつか公開しています

<https://www.gjplus-tokyo.com/無料で学べる教材/>

すでに知っている内容かもしれませんが、新登場の「実践メールレター」と、そこに登録するともらえる「おまけ」もついてます。そのおまけの1つは「**モテる原理**」で、**モテたい人はもちろん、モテたくない人にも参考になるヒント**があると思う。これはまた時間をかけて、さらに幅広くやりたいと思っている内容です。基礎的な内容ですけど、参考にしてどんどんモテちゃってください。

.....

☆おまけです

パーソナルコーチングのセッションでも時々ありますが、クライアントが「あんまり動いてない」状態でやってくると、効果的な時間になりません。

「あんまり動いてない」というと誤解を招くので（世間的な基準ではけっこう動いている人もいるから）、もうちょっと正確にいうと、

「自分の限界域にそこまで本気でチャレンジしてないから」

で、こっちのニュアンスの方が正確です。

枠の中で日々忙しくしている人はたくさんいるのだけど、限界域にチャレンジしている人は案外少ない。

これがポイントでしょう。忙しいからといって、限界にチャレンジしていることにはならない。「忙しい」が、挑んでない日々の口実になっている人もいるでしょう。

あなたはどうでしょうか？

限界域のコンフォートゾーンに留まっている人がダメだとは言っていないけど、それだと思考空間が広がらないので（広げる理由がないので）、経験値を積んでも能力があまり抽象化されない。これは例えば、昔の村社会の悪い側面なんかを考えればわかると思う。

そういう人は、ゴール達成にフォーカスがぜんぜん合っていない。

では「ゴールにフォーカスが合っている」とはどういうことでしょうか？

今のあなたには絶対に達成できないことを絶対に達成しようという、かなり特別な意識状態です。

そうすると、怠け者とかダメな人はすぐに、もっと自分のゴールについて考えたいですとかなるのだけど、それもどうなんですか。そういう人に「まず動いてみれば？」という具体的なプランを提示すると、いろいろ出てきて絶対にやらない。

「やる気」「勇気」がないんじゃないか？

やる気、勇気は行動しないと出ないから、まずやってみれば？です。

だからあなたも、やる気・勇気・元気・前向きな人と出会っていくことを心がけた方が良いでしょう。強い人間と強い関係をつくれる人間になっていくことを心がけていく。

浮力のある人、ドライブする力のある人、素直な人、人柄のいい人、周りのために何かできる人、成長性のある人、ポジティブな人、強い人、真剣な人、向上心の強い人、自力を出そうとしている人、、など、前向きな才能のある人と出会えるあなたになっていくことが大事でしょう。

その動きをつくる中で、そういう前向きな状況を借りて、あなたもレベルアップしていく。あなたがゴールを見つけてから、とかより早いかもしれません。

そうやって「動いている」中でしか伝えられないことはたくさんありますし、我々の勉強会もそういうマインドの人に役立つことがたくさんあります。

